



森林ウォークウィーク

秋の森林でリフレッシュ！

10月5～11日、新型コロナの終息が見通せないことから、バスを利用せず、短時間、少人数での森林散策ということで初の取り組みとして「森林ウォークウィーク」を行いました。

初日（5日）の緑ヶ丘森林公園（10名）は、朝からの雨で実施が危ぶまれましたが、スタート時には小雨、その後徐々に天候回復、6日：南丘森林公園（9名）、7日：北見ヶ丘（10名）、8日：オホーツクの森「古の森」（12名）と好天に恵まれ、4日間、延べ41名が秋の森林散策を楽しみました。（10日・11日は希望者少数のため中止）

忙しい中、複数回にわたり下見・ガイドしていただいた皆さん、お疲れ様でした。

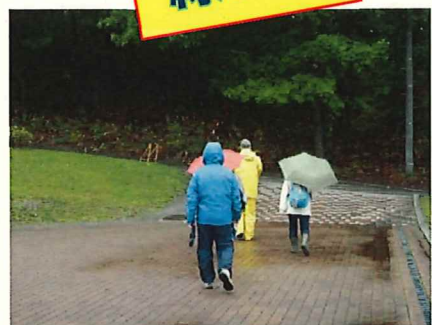
<小島>

山路歩ける幸せかみしめ

緑ヶ丘

朝からどしゃ降りの雨でしたが、集合時間には小降りとなり、散策途中からは青空が広がっていました。

緑ヶ丘森林公園には、四季折々足を運んでいます。秋は実を結ぶ木々・植物がたくさんあって良いですね。



初めて見たトチの実の可愛らしさ、久々に食べたコクワ、フッキソウの実の甘さ、赤・黄・橙と美を競う木々、今年はコロナで家ごもりが続いたので、山路を歩ける幸せをかみしめて帰りました。

案内して下さった皆様、ありがとうございました。

<中田恵美子>

森林ウォークウィーク

森林散策は最高の健康法

初秋の野山は、清浄された冷氣と静かさ、マイナスイオンにあふれる爽快な環境であった。

マムシグサは赤い実をたくさん蓄え、オオウバユリの立ち枯れた実には大量の種、魅力的なオオツリバナの垂れ下がる実と葉の紅、そして、ガイドの丁寧でわかりやすい説明も良かった。



景色の素晴らしさ、爽快な草木の香り、鳥のさえずり…5感も大いに刺激を受けた。自然に触れ、自然と語らい、自然に学ぶ、森林散策は癒やしをとめない最高の健康法となった。

<「緑ヶ丘」「北見ヶ丘」「古の森」の3コースに参加したS・Y>

北見ヶ丘

市内一望に！

朝から秋晴れの良い天気、信善光寺駐車場を出発。色づいているのはブドウの葉ぐらいでまだ紅葉には少し早いようでした。

木々の説明を受けながら登っていくと、高いところにたくさん成っているコクワの木があり、手の届くところの実をとってみたらまだ固かったです。



だんだん登ると前方が明るくなり、左が北見ヶ丘霊園、右が目的地の展望台です。

展望台からは北見市内を一望でき、近くに大きなナラの木が数本あり、そのうちの一本には「スズメバチ注意」の看板がありました。

帰りに四国八十八カ所、西国三十三カ所を模した石仏を回り、寺の屯田兵人形を見学して終了しました。楽しい時間をありがとうございました。

<岸 美智雄>

森林ウォークウィーク

大木いっぱい!

木のこと解る

古の森

説明板たくさん

「『古の森』って魅力的な名前よね。行ってみたい?」「私も初めて聞いた名前、行きたい!」

そんな会話で森林散策「古の森」に申込みました。

「『オホーツクの森』のほぼ中心、しらかば十字園の一区画を『古の森』と言うんだって」「200年以上の木がたくさんある森なんだって!」そんな説明を受けながらの散策です。

「遊歩道沿いに説明板がたくさんあって驚いたわ。三本松のトドマツの
高さはこの森一番で 10 階建てのビルくらいと書いてあったね。」

「『この木なんの木?』なんて看板もあったね。めくると、カツラとか、ハリギリとか、木の名前、年齢、太さ、高さ、特徴、名前の由来まで書いてあって、答えがすぐ解るってうれしいね。」



「こんな近くに豊かな自然の営みを感じる森があるんだね。」「今日は参加して良かったね。」「違う季節に来たいね。」「そだね~!」(ちょっと古いけど)

そんな会話で森林を後にしました。ありがとうございました。

<大戸 香、土門美喜子>

なるほどクイズ

(答えは会報のどこかに...)



もうすぐ正月、2021年を迎えますが、新年を迎えるに当たって門松を飾る家も多いかと思えます。(紙の印刷物での代用も含めてですが・・・)

ところでなんで松を飾るの? 「ポーっと生きてんじゃねーよ!」と叱られないように。

炭づくり隊&色々食べ隊

楽しく！美味しく！

10月31日（土）の「炭づくり隊&色々食べ隊」は、前日の雨がうそのような晴天!!

子ども3名を迎えての活動は、薪小屋のシート補修、ふれセン推薦のブドウ狩り、豚汁等の炊事班、子どもたちと一緒にいも団子作り+ゲーム担当、炭づくり担当と午前中はみんな大忙し。



高枝バサミ、届くかなあ...

昼前には、ブドウ狩り班から、ヤマブドウ・コクワがどっさり。

子どもグループは、お母さんと一緒にカモフラージュを楽しみ、いも団子を小さな手でコネコネ。

木の実、レンコン、ビスケット…これはうまく焼けるのか？などと話しながらの炭焼き、開けてビックリ！「これはきれい」「これは残念」、いつもながら完全でない炭焼きでした。



炊事班も沢山なので火力が足りず、お餅を焼くより熱くて顔が真っ赤になったり、大変でしたが出来上がり～みんなでおいしく、いただきます！

楽しい中にもコロナ対策の手洗い、人との距離、マスクなどの対応をしながらの一日でした。

遠く標茶町から相馬夫妻の参加もあり、子どもを含む23名の参加、子どもがいると活気がでるね。【参加者多数のため、氏名省略させていただきます】

<小島>

心も身体も満たされ **おなかも!**

子どもと初参加させていただきました。
持ち込んだ材料が黒々と光る炭に変化したことに驚き、自分で丸め伸ばしたイモ団子、次々に完成する料理。

「あれも食べる!」「おかわり!」と目を輝かせ、我が家の食いしん坊たちは大満足!



自然にふれ、遊び、心も身体も満たされた秋の一日になりました。

森林ボランティアの皆さま、楽しい時間をありがとうございました。

<溝渕みゆき>

炭づくり隊&色々食べ隊

お子さまと一緒に参加していただいたお母さん(一般参加)から感想を寄せていただきました。

炭作りの意外性に

驚き!

「おいしい昼ごはんが食べられますよ」の言葉に誘われ、4歳の息子と一緒に初めて参加させていただきました。

飾り炭作りでは「こんなのがきれいな炭になる

のだろうか?」と思うようなものが見事に仕上がり、その意外性がおもしろかったです。



外の風を感じながらの昼食もおいしく、秋の味覚コクワもたまりませんでした。

息子はノコギリで木を切る体験が思い出になったようで、帰宅後も「楽しかった」と何度も話していました。

皆さん、ありがとうございました。

<斉藤英理>



一般市民に森林、自然の素晴らしさを知ってもらおうと【活動広め隊】が初めて企画した「4コマで感じる写真展」を11月18日～24日、NHKぎやらりーで行ないました。

北見柏陽高校写真部13人を含め34人の一般応募もあり、想定を上回る65作品(47人)の出展がありました。



鎖チェーンに磁石で取り付けた、額縁入り2Lサイズ4枚組のちいさな物語は、延べ185名の方にゆっくりと時間をかけて楽しんでいただき、お気に入りの作品に「いいね!」「Good!」のシールやコメントを貼って頂く参加型の写真展にしました。

来場者から「自然の色はすばらしい!」「写真を発表する場を与えてくれてありがとう」などの感想も寄せられました。

また、大場全日本写真連盟北海道指導員を始め、多くの方から「すばらしい企画、毎年開催して欲しい」とありがたいお言葉もいただきました。

シールで参加!

Good! **いいね!**

たくさんのコメントも…

森林に入る機会が少なくなっている市民の皆さんに、森林とのふれあいを呼びかけ、自然にふれることで感じる不思議さや心地よさ、森林への理解を深めていく媒介者としての役割の大切さをますます感じたところで



す。応募してくれた皆さん、会場設営に協力いただいた皆さん、そして、忙しい中、会場に足を運んでくれた皆さん、ありがとうございました。

＜植村＞

意外な風景など、きれい
でした。

動物の写真は、自分のペ
ットでなくてもかわいいも
のです。

みんな素晴らしい力作ぞろい！身近
にいろんな感動があるんですネ！

こういう写真展は本当にいいものだ
と思うので是非続けてもらえればあり
がたいと思います。(以下略)

ずらりと見応
えあり、楽しめ
ました。

気軽に、身近
で見つけたそれ
ぞれの物語を感
じることができ
ました。

ぜひ、またい
つか…2回目期
待しています。

来場者の声



皆さんの作品、とても、すばらしいですね。
どれも、たくさん視点があって、目をみはるものが
ありました。
高校生の方たちの写真も展示していただきありがとうございます。
ごさいます。

たくさんの眼を通して、美しくやさしく、時には
厳しい自然を楽しませて頂きました!!

ありがとうございます。また次回も楽しみです。

どの写真も心がこもってため息出ました。

山に、自然に、触れました、久々に・・・ありが
とうございます。

【なるほどクイズ】 答え

マツは、やせ地でも寒い冬に耐え、一年中緑色の葉
を繁らせることから、節操や長寿の象徴とされ、マツ
は「待つ」の意味合いを持つ
ものとされてきました。



そして、樹木の梢に神が降臨すると考え、神社
では御神木に注連縄を飾り、歳神を迎える玄関口
に「神を待つ」という意味を込めて門松を飾るよ
うになったそうです。

第2回自主活動（9月8日）は、自然再生モデル林内（カミネッコン周辺）の歩道草刈りを主に行いました。

第2回

この歩道、10年ほど前に会で作ったものですが、歩道の存在を知らない人も多く、活用の工夫も必要と思います。

参加者は次のとおり。【吉田、小山、植村、小林、長谷川、渋谷、小島】 <小島>

幻の歩道？

= 草刈り =

自主活動

熟練の技で

物置補修&木橋架け替え

第3回

10月13日（火）、7名の参加により、第3回自主活動を行いました。

【物置補修】

私たちの活動拠点「森の家」の物置（プレハブ）が老朽化し「戸が外れて困ってます」というふれセンのSOSを受けて、長谷川・渡部の2名で戸の取り替えをしました。



まずは、古い引き戸、損傷の激しい土台を解体し、新たな枠を作ります。

そして、小原さんが調達してくれたドアを取り付けて完了、色違いの壁をどうするかは今後の課題です。

【木橋架け替え】

古の森遊歩道ができてから15年以上経過し、木橋の腐朽・損傷が進んできていることから2018年からの実施で今回3ヶ所目、栄、植村、小山、渋谷、小島の5名…慣れた(?)手順で進めます。



ふれセン職員から概要説明を受け、整地・土台丸太設置・横板の打込み、安定させるための土嚢積み、古い木橋の撤去で完成しました。

<小島>



新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、別紙「**申込み用紙**」または**メール**で
h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川FCアドレス)

○冬の自然観察会

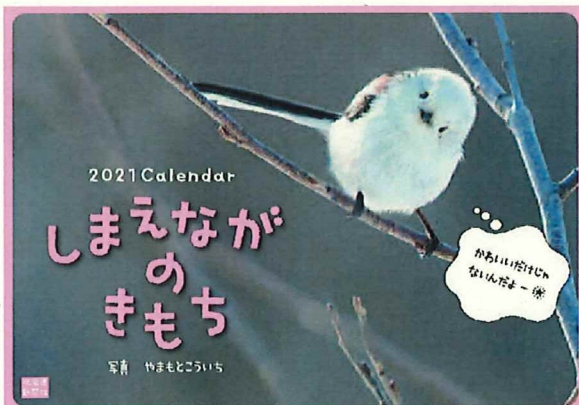
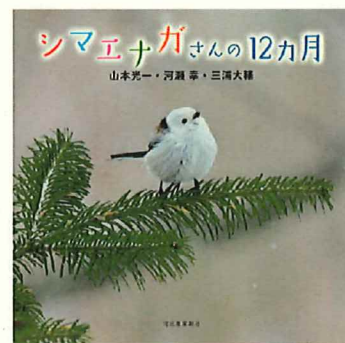
- 日時 2021年 2月27日(土)
常呂川FCより貸し切りバスが出ます。
8:15 受付開始(8:30までに集合願います)
8:45 バス出発
14:30 帰所予定
- 場所 サロマ湖畔遊歩道
- 内容 スノーシューを履いての森林散策他
- 持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク、ハンカチ等
(スノーシューは無料で借りることができますが、お持ちの方はご持参下さい)
- 参加費 200円(傷害保険料等)
- 申込み 2月16日(火)まで
(いわゆる3密を考慮し、先着20名までとします)

★2月16日、散策会の下見を兼ねた自然に学び隊活動を行います。

参加希望者は2月8日(月)までに連絡願います。(詳細は参加希望者に連絡します)

○第13回総会及び研修会

- 月日 2021年 3月13日(土)
- 場所 北網圏文化センター 講座室
- 内容 ●研修会(10:30~12:00)
テーマ 「シマエナガのはなし」
講師 山本光一氏
(前田一步園財団自然普及課長)



●第13回総会(13:00~14:30)

- ★研修会については、一般募集はしませんが、会員以外の参加も可能です。
- ★研修会のみ、総会のみでの参加もOKです。

9月26日(土)に予定されていた第1回森林づくり塾(主催:常呂川森林ふれあい推進センター)は悪天候のため中止となりました。

木々に関するつぶやき

【ヤマナラシ】

高さ 20m ほどになる落葉広葉樹で日当たりの良い荒地に生える。

葉と葉の生えている間隔が狭く、わずかな風でも葉と葉が擦れ合って音を鳴らす。

少しの風なら「サラサラ」、強風なら「ザワザワ」、山を鳴らすことからヤマナラシ。

材質が柔らかく、箱の材料にしたことからハコヤナギとも。



会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。(退会される方は事務局へ一報願います)



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む(手数料がかかります)

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内

森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144